



プライマリケアTriple P

プライマリケアTriple Pとは？

プライマリケアTriple Pは、簡潔で目的を絞った個別形式の支援で、行動の問題(例:かんしゃく、けんか、買い物)や、技術の発達についての課題(例:一人で食べる、トイレトレーニング、夜ベッドにいる)に対応するための子育てプランを、保護者が作るのを助けます。このような目的を絞った相談を、保健専門家による定例の検診などを通じて行います。ファシリテーターは、4-6週間の間に3-4セッション(各15-30分)を提供します。セッションは、対面、電話、または混合で行うことができます。

どんな保護者に向いているのでしょうか？

プライマリケアTriple Pは、子どもの行動に特定の心配事があり、個別の相談を希望する保護者に効果的です。子どもの行動の問題が軽度で、高度の家庭内ストレスにより問題が複雑化されていない場合に、さらに効果的です。この支援を受ける保護者が、問題が改善しない時に、その後グループTriple Pを受けることもあります。

保護者とのセッションでの内容は？

相談セッション1:保護者が提示する問題についてのアセスメント。このセッションでは、ファシリテーターは初回面談を行い、支援オプションについて話し合い、子どもの行動の観察法を保護者に紹介します。

相談セッション2:子育てプランを作る。このセッションでは、ファシリテーターはアセスメントの結果を保護者に報告し、子どもの行動の問題の原因を保護者が見つけ、変化への目標を立てるのを助けます。

相談セッション3:実践の振り返り。このセッションでは、ファシリテーターは自己調整の枠組みを使って、保護者が子育てプランの実施を振り返るのを助けます。そして、必要に応じて保護者がさらなる改善への目標を立てるのを補助します。このセッションでは、保護者が特定の子育て技術を練習したい場合に、行動リハーサル(ロールプレイ)が使われます。

相談セッション4:フォローアップ。子どもの進歩を振り返ります。Triple Pがどのように実践されているか話し合い、変化の維持についても話し合います。必要であれば、今後の紹介のオプションも話し合われます。

保護者向けの教材は？

各家庭には、対象となる難しい行動に関連したTriple Pチップシートを最高3部までと、前向き子育てブックレット1部が配布されます。



プログラム実施にかかる時間は？

各セッションの時間に加えて、ファシリテーターには、親の満足度アンケートの採点、セッションの準備、またはスーパービジョンを受ける時間が必要です。各家庭に必要な時間についてのガイドラインは、以下の表をご参照ください。

コース	対面相談またはグループセッションの時間	アンケートの採点と報告—プログラム前後のアセスメント*	電話相談または家庭訪問	セッションの準備とセッション後の振り返り・スーパービジョン	各家庭についての記録・報告書作成**	合計時間
プライマリケア Triple P	2時間 (1家庭につき30分セッションを4回)	なし	なし	¼時間	¼時間	1家庭につき2½時間

*クライアント満足度アンケート (CSQ) を採点するために、各家庭につき2-3分がさらに必要となる。

**行政機関向けの詳細な報告書は含まれない。

プロバイダートレーニングの内容は？

プライマリケアTriple Pを提供するには、プラクティショナーは積極的な技術養成のプログラムと、プログラム実施に関する知識と技能を示す、技能ベースの認定プロセスを修了する必要があります。以下の表に、トレーニングや支援の日に参加する時間と、準備やファシリテーターのピアサポートに必要な時間が示されています。

コース	養成講座の日数 (9.00am - 4.30pm)	認定前ワークショップ (9.00am - 4.30pm)	認定試験の準備に必要な時間	認定試験日	ピアサポート	合計時間
プライマリケア Triple P	2日	1日	4-6時間 (クイズと技能の準備)	半日	2-3時間 (毎月1時間のミーティング)	4½日

プラクティショナー向けの教材は？

各プラクティショナーには、養成講座で以下のTriple Pファシリテーター教材を1部ずつ配布します：

- プライマリケアTriple Pファシリテーターキット (ファシリテーターマニュアル、フリップチャートを含む)
- Triple Pチップシートシリーズ—サンプルパック (「前向き子育てブックレット」とTriple Pチップシートシリーズ中の数部を含む)
- すべての親のためのサバイバルガイド (DVD)